



# 所沢市議会 議会評価報告書

平成31年3月

## 1 趣旨

所沢市議会は、平成21年3月の議会基本条例施行以後、さまざまな取り組みを実施してきた。

その中で、毎年度、市民の負託に応えられる議会の実現及び議会運営の活性化を図るとともに、説明責任を果たすため、所沢市議会が実施する事業及び議会改革について、基本条例に基づき所沢市議会議会評価を行ってきた。

平成25年4月1日からは、さらに実効性を高めるために所沢市議会議会評価の実施に関し必要な事項を定めた所沢市議会議会評価実施要綱を制定した。

本報告書は、議会運営委員長及び広聴広報委員長がそれぞれ下記の期間において所管した事業等について自己評価を行いその結果を取りまとめたもので、今後の取り組みに活かし、更なる改善を図っていくものとする。

## 2 評価対象期間

平成30年6月から平成31年3月までの期間

## 3 評価対象事業等

### (1) ◆議会運営委員会所管

「議案質疑のあり方について」

「議会基本条例制定10周年記念事業」

「議会ICT化の推進」

「議会改革に関する視察受け入れ」

### ◆広聴広報委員会所管

「市議会だより作成・配付」

「みみ丸カフェ2018の開催」

「議場コンサートの開催」

「本会議映像のインターネット中継」

### (2) 所沢市議会基本条例に規定する項目に対する評価（達成度及び方向性）

## 4 評価結果

別紙のとおり

## 議会事業評価表

事業名	議案質疑のあり方について
<p>【概要】</p> <p>平成21年3月に議会基本条例が施行し、同条例第9条第1号において「議員の市長等に対する質疑及び質問は、広く市政の課題に対する論点及び争点を明らかにするために、一問一答の方式で行うことができる。」と規定している。</p> <p>平成21年第3回定例会から一般質問については「一括」、「初回一括」、「一問一答」の3方式から選択できることになった。しかし、議案質疑については1人1時間を目途に予算については項目ごとで3回まで、条例や諮問などについては3回までしか質疑することができない状況が10年続いている。</p> <p>そのため議会基本条例制定後の議案質疑のあり方を政策研究審議会に諮問を行い、市民に分かりやすいようにと答申を頂いた。また答申には直接記載されなかったが、答申の際に委員からは一般質問同様、質疑の方法についても選択制の採用も示唆された。</p> <p>これを受け改選後の（仮）平成31年第2回定例会以降従前の方式に加え、持ち時間を30分の一問一答方式についても選択することができることとした。</p> <p>【評価】</p> <p>（仮）平成31年第2回定例会、第3回定例会、第4回定例会で質疑方法の選択制を採用し、その課題などを精査、検討することを確認した。評価については時まで保留とし、未評価とする。</p>	
委員長名	議会運営委員長 石本亮三

評価日：平成31年 3月29日

## 議会事業評価表

事業名	議会基本条例制定10周年記念事業
<p>【概要】</p> <p>平成31年2月に議会基本条例が制定10周年の節目を迎えた。</p> <p>2月9日（土）こどもと福祉の未来館においてシンポジウムを行った。シンポジウムは「議会改革の歩みとこれからの所沢市議会」を大きなテーマとし、第1部は法政大学副学長の廣瀬克哉教授による「所沢市のどこが違ってどこが良い？」をテーマに基調講演を行った。第2部は廣瀬教授をファシリテーター役として議会運営委員会を構成している会派の議員6人による「市民満足度の高い議会へ」をテーマにパネルディスカッションを行った。当日は64名の方々にご参加を頂いた。</p> <p>またシンポジウムに合わせ記念誌も作成した。記念誌には藤本市長、議会基本条例制定時の当麻前市長、小川元議長、そして議会事務局長の御寄稿の他、28名の議員の寄稿により発行に至った。</p> <p>【評価】</p> <p>所沢市議会は議会基本条例制定以降議会改革先進地域として全国から多くの視察を受けてきた。今回の10周年記念事業で条例制定時の議員とその当時議員ではなかった議員との間で議会改革の認識について違いがあることも事業を通じて分かった。</p> <p>今後制定時の議員が減少していく中で、議会改革の意義や経緯を確認する意味でも議会基本条例31条に基づく改選後の見直しをはじめ、機を見て確認していくことが重要である。</p>	
委員長名	議会運営委員長 石本亮三

評価日：平成31年 3月29日

## 議会事業評価表

事業名	議会 ICT 化の推進
<p>【概要】</p> <p>1 背景</p> <p>平成28年2月に「所沢市議会 ICT 推進基本計画」を策定し、3月定例会に可決された基本計画実施する決議に基づき、平成30年度も ICT 化推進に取り組んだ。</p> <p>2 推進の取り組み</p> <p>Wi-Fi 環境を、本会議・委員会開催時に議場・委員会室に整えた。</p> <p>昨年に引き続き、議会運営委員会において承認された書類及び資料等をデータで配信した。このことにより、ペーパーレス化及び事務局職員の事務負担の軽減が図れている。</p> <p>また、今年度も定例会での質疑及び一般質問において、説明の資料としてタブレットの静止画を議場内のモニター及び傍聴席モニターに映すことにより、タブレットの活用を図った。</p> <p>グループウェアの活用は、無料グループウェアを試行的に運用したが、本格的な運用には至らず、有料グループウェアを予算化することとなった。</p> <p>【評価】</p> <p>Wi-Fi 環境を議場・委員会室に整え、タブレットの活用を進める事が出来た。Wi-Fi 環境の充実は今後の課題とする。</p> <p>グループウェアの運用には至らなかったため、新年度予算要求することとなった。活用方法等については、導入後の課題となる。</p> <p>議場にモニターを設置し、説明資料として活用したが、個人の私物を借用しており整備は次年度への課題となった。</p>	
委員長名	議会運営委員長 石本亮三

評価日：平成31年 3月29日

## 議会事業評価表

事業名	議会改革に関する視察受け入れ		
【概要】			
1 背景と経過			
<p>本市議会は、平成21年3月に議会基本条例を制定し、毎年議会改革に取り組んできた。こうした本市議会における議会改革や議会運営の取り組みに対し、他市町村議会から多くの視察の申し入れがあり、本市議会としても情報共有により、より広い視点から課題を捉え直す機会と受け止め、継続的に数多くの視察の受け入れを行っている。なお、今評価期間の議会に関する視察の受け入れに当たっては、議会運営委員会の委員のほか、広聴広報委員会の委員などが対応した。</p>			
2 概要			
年 度	視察受入件数	受入人数	対応議員延人数
平成25年度	36件	375人	76人
平成26年度	30件	323人	78人
平成27年度	22件	212人	52人
平成28年度	28件	314人	58人
平成29年度	25件	245人	68人
平成30年度	27件	275人	77人
【評価】			
<p>視察は基本的には断ることなく受け入れた。しかし以前は所沢市は議会改革の先進事例として全国的に有名だったが、昨今はその印象も薄れつつある様な感じが否めない。</p>			
<p>視察の受け入れ体制についても制定当時の現職だった議員とその当時議員でなかった議員との間で制定までの経緯などの知識に差が生じている。今後は議員間の差が少しでも無くなる様な引き継ぎをきちんとしていくべきである。</p>			
<p>また今後は視察に来た議会に少しでも所沢市の経済活動に貢献してもらうような事も今後の検討していくべきではないだろうか。</p>			
委員長名	議会運営委員長 石本亮三		

評価日：平成31年3月29日

## 議会事業評価表

事業名	市議会だより作成・配布
<p>【概要】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第22条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議会の活動を多くの市民に対してわかりやすくお知らせするため、各定例会後に発行する議会広報誌であり、昭和45年11月に第1号のB5判「市議会ところざわ」を発行した。その後、昭和59年5月発行の第50号からタブロイド判の「ところざわ市議会だより」となり、平成8年5月発行の第98号からA4判となり現在に至る。</p> <p>2 内容</p> <p>紙面構成については、定例会での議案審議、トピックス（議会からのお知らせ）、市政に対する一般質問（3月定例会については質疑及び一般質問）、閉会中の議会活動の各コーナーを基本とし、表紙・裏表紙では、市にゆかりがあり、各分野で活躍している人を表紙に起用するとともに、インタビュー記事などで紹介している。掲載内容については、所管である広聴広報委員会にて協議を随時行い決定している。</p> <p>市議会だよりは定例会ごとに129,400部作成し、新聞折込等で配布を行うとともに、市議会HPでPDF版を公開している。また多くの方に手に取っていただくため、市の関係機関のほか所沢駅構内や、所沢市医師会に加入している市内医療機関（約180箇所）への配架に加え、自治体情報アプリ「マチイロ」への掲載、SNS（フェイスブック）で発行のお知らせを行っていることもあり、市議会ホームページ上のコンテンツ「市議会だより」のアクセス件数は毎年増加している。</p> <p>平成28年度 20,118件 平成29年度 24,849件 平成30年度 25,800件（見込み）</p> <p>【評価】</p> <p>今後も市民に親しまれ、読んで役立つ広報誌を目指し、紙面の充実に努めていくとともに、市民などから要望の出ている全戸配布などについても、引き続き検討をしていきたい。</p> <p>（経費）平成30年度 印刷製本費：11,627,364円、新聞折込手数料：4,633,804円 通信運搬費：24,840円、合計：16,286,008円</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大館 隆行

評価日：平成31年3月29日

## 議会事業評価表

事業名	みみ丸カフェ 2018の開催
<p>【概要】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第22条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議会の広聴機能強化の一環として、議会と普段関わる機会が少ない市民の方などに、議会をより身近に感じ、興味を持っていただくことを目的に、ワールドカフェスタイルによる市民と議員との懇談会「みみ丸カフェ 2018」を、平成30年7月28日に開催した。</p> <p>2 内容</p> <p>ファシリテータに早稲田大学人間科学学術院教授 扇原 淳氏を迎え、無作為抽出による市民9人、市内在学の高校生14人、早稲田大学・日本大学芸術学部・秋草学園短期大学の学生24人、広聴広報委員10人の合計57人が参加した。参加者は地元ゆるキャラ名を冠した10テーブルに分かれ、意見交換を3ラウンドにわたり行った後、まとめとして意見交換後の個人の意見をそれぞれが付箋に記入し、会場前方に用意された模造紙に貼付し情報共有を行った。</p> <p>イベントを開催するにあたり、所沢市観光協会の協力のもと所沢産の狭山茶や茶菓子の提供や、風船などによる会場装飾、BGM・アロマなどを用いた会場の雰囲気づくりを行い、参加しやすく話しやすい環境づくりを行った。</p> <p>第1、2ラウンド：あなたが思う、所沢市の魅力や自慢できるものは何ですか？  第3ラウンド：所沢市にあるものを生かして、さらに魅力あるまちにしていこうためにはどうしたらいいと思いますか？  個人意見のまとめ：所沢市がさらに魅力あるまちとなるために、あなたができることは何ですか？</p> <p>【評価】</p> <p>無作為抽出により、これまであまり議会と関わる機会がなかった市民や市内在学の高校生、早稲田大学・日本大学芸術学部・秋草学園短期大学の学生が参加し、所沢市の魅力を再認識することができ、好評であった。当日出た意見の活用等が課題であるが、18歳選挙権の関係など、今後さまざまな形で展開、活用できる可能性を持つツールであることから、今後も当該イベントを開催していきたい。</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大館 隆行

## 議会事業評価表

事業名	議場コンサートの開催
<p>【概要】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第22条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議場コンサートについては、平成27年12月に市議会65周年記念とし開催したことをきっかけに毎年開催し、好評であった。</p> <p>コンサートの様子は、インターネットでライブ中継したほか、市庁舎1階ロビーおよび8階大会議室前に設置したモニターで放映した。</p> <p>2 内容</p> <p>平成30年12月定例会に先立ち開催した議場コンサートでは、市内在住のステールパン奏者によりドラム缶から作られた音階のある打楽器により華麗な独奏が行われた。</p> <p>【評価】</p> <p>議会をより身近に感じてもらうための議場を活用した事業の一つであり、多くの傍聴者が来場し、好評であった。この事業は、市内で活躍する音楽家や学生への演奏の場の提供といった視点も含め、今後も開催していきたい。</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大館 隆行

評価日：平成31年3月29日

## 議会事業評価表

事業名	本会議映像のインターネット中継
<p>【概要】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第22条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>情報技術の発達を踏まえ、多様な広報手段により議会の情報公開を進めることを目的とし、平成20年9月から本会議の映像をライブ中継と録画中継でインターネット配信している。平成27年9月にシステムの更新を行い、高画質化、テロップ表示、スマートフォンやタブレット端末での閲覧に対応した。</p> <p>2 内容</p> <p>平成29年3月定例会から、職員が庁内利用するライブ中継については、庁内ネットワーク回線を利用したことにより、一般公開の中継にかかる負荷が軽減され、安定的な配信を継続している。</p> <p>平成30年4月～平成31年3月（3月定例会に係るライブ中継を除く）の平均アクセス数は以下のとおり。</p> <p>ライブ中継 2,147件/定例会      録画中継 563件/月</p> <p>（参考）平成29年4月～平成30年3月</p> <p>ライブ中継 6,062件（平均1,515件/定例会）</p> <p>録画中継 6,257件（平均521件/月）</p> <p>【評価】</p> <p>市民がいつでも議会の内容を知ることができる、極めて有意義な事業であり、今後も引き続き、安定的な配信を続けていく必要があることから当該事業について継続していく。</p> <p>（経費）</p> <p>平成30年度 中継委託料：1,561,680円、機器借料：166,030円 通信料：89,160円、合計：1,816,870円</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大館 隆行

議会改革評価表 (平成30年6月～平成31年3月)

1 所沢市議会基本条例に規定する項目の評価

No.	項目	議会基本条例該当条文	進捗状況又は実績	評価		備考
				達成度	方向性	
1	目的	第1条				
2	議会の役割	第2条				
3	議会の活動原則 (公正性・透明性・信頼性) (情報公開・説明責任)	第3条	議会事業評価の公表	○	継続	
			説明責任	○	継続	
			市民にとってわかりやすい議会運営	○	継続	モニターを活用した資料説明(平成30年6月、9月、12月定例会一般質問、平成31年3月定例会質疑及び一般質問)
4	議員の活動原則	第4条				
5	会派	第5条				
6	市民参加及び市民との連携	第6条	会議の原則公開	○	継続	非公開・秘密会なし
			公聴会	—	継続	本評価期間中対象案件なし
			参考人制度	○	継続	
7	議会報告会	第7条	2回開催 (11月2回)	○	継続	広聴広報委員会所管
8	意見提案手続	第8条		—	継続	本評価期間中対象案件なし
9	議員と市長等執行機関の関係	第9条	質疑及び一般質問	△	継続	平成31年3月定例会で前年に引き続き実施。議案質疑に係る一問一答は未実施
10	議決事件の追加等	第10条				
11	閉会中の文書による質問	第11条				
12	議会審議における論点情報の形成	第12条		○	継続	
13	議員間の自由討議	第13条		○	継続	
14	政策討論会	第14条	1回開催 (7月7日)	○	継続	参加者55名
15	委員会の運営等	第15条	政策提言	○	継続	
			正副委員長連絡協議会	○	継続	各定例会で合計8回実施
16	議会運営委員会	第16条	質疑及び一般質問 予算特別委員会の設置	○	継続	平成31年3月定例会で前年に引き続き実施
17	政務活動費	第17条	ホームページ上の公開	○	継続	平成26年5月から公開
18	議員研修の充実強化	第18条	議員研修の実施	○	継続	
19	議会事務局の機能強化	第19条	14人(平成30年4月1日)	○	継続	所沢市職員定数条例の定めによる事務局職員定数14人
20	予算の確保	第20条		○	継続	ICT化推進(グループウェア導入)

21	議会図書室	第 21 条	図書の充実	○	拡充	広聴広報委員会所管
22	議会広聴広報の充実	第 22 条	広報紙・HP 等による公表の充実	○	拡充	
23	専門的識見の活用	第 23 条	専門的識見の活用	—	継続	
24	附属機関の設置	第 24 条	政策研究審議会	○	継続	
25	議員の政治倫理	第 25 条	政治倫理条例等の遵守	○	継続	
26	議員定数	第 26 条	平成 27 年 4 月の一般選挙における定数は 33 人	○	継続	
27	議員報酬	第 27 条				
28	災害時における議会の活動	第 28 条				
29	他の自治体の議会との交流及び連携	第 29 条		○	継続	視察受入 27 件
30	議会評価	第 30 条		○	継続	平成 31 年 3 月 29 日
31	見直し手続	第 31 条				

## 2 議会改革の取組状況

開催議会	進捗状況及び実施事業	項目	該当条文
平成 30 年 6 月定例会	建設環境常任委員会による提言 (6/11)	委員会の運営等	第 15 条
閉会中	建設環境常任委員会による政策討論会開催 (7/7)	政策討論会	第 14 条
	みみ丸カフェ 2018 (7/28)	議会広聴広報の充実	第 22 条
	建設環境常任委員会による提言 (8/29)	委員会の運営等	第 15 条
	建設環境常任委員会による自由討議 (8/29)	議員間の自由討議	第 13 条
	市民文教常任委員会による提言 (8/29)	委員会の運営等	第 15 条
	第 6 次所沢市総合計画に関する議員研修会開催 (8/31)	議員研修の充実強化	第 18 条
	第 6 次所沢市総合計画特別委員会調査・研究における参考人招致 (8/31)	市民参加及び市民との連携	第 6 条
平成 30 年 9 月定例会	総務経済常任委員会請願審査における参考人招致	市民参加及び市民との連携	第 6 条
閉会中	第 6 次所沢市総合計画特別委員会審査における自由討議 (10/22・11/7・11/21・11/29)	議員間の自由討議	第 13 条
	視察 「予算・決算常任委員会について」滋賀県湖南市 (10/25)、「滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携及び協力に関する協定について」「議会改革について」滋賀県彦根市 (10/26)	議会運営委員会	第 16 条
	政策研究審議会開催 (11/13) 2 件を諮問	附属機関の設置	第 24 条

	議会報告会開催（11/17、21）	議会報告会	第7条
平成30年 12月定例会	議場コンサートの実施（12/3 開会前）	議会広聴広報の充実	第22条
閉会中	市民文教常任委員会による提言（1/7）	委員会の運営等	第15条
	地方創生に関する特別委員会による提言（1/10）	委員会の運営等	第15条
	政策研究審議会開催（1/11）諮問に係る答申、議員との意見交換	附属機関の設置	第24条
	視察 「議会改革の取り組みについて」愛知県犬山市（1/24）、「ピアンキアンソニー議長から見た犬山市議会の議会改革について」愛知県犬山市（1/25）	議会運営委員会	第16条
	健康福祉常任委員会による提言（2/6）	委員会の運営等	第15条
	議会基本条例制定10周年記念ポスター展開催（2/2-2/8）	議会広聴広報の充実	第22条
	議会基本条例制定10周年記念シンポジウム開催（2/9）	議会広聴広報の充実	第22条
平成31年 3月定例会	予算特別委員会を設置（新年度予算案件10件を審査）	委員会の運営等	第15条
	総務経済常任委員会請願審査における参考人招致	市民参加及び市民との連携	第6条

### 3 議会の活動状況

項目			30年度		29年度		比較
議員提出議案			19	件	11	件	
付帯決議			0	件	0	件	
修正可決			2	件	0	件	
委員会提出議案			0	件	0	件	
委員会提言			4	件	2	件	2
6月定例会	傍聴者数	本会議	92	人	145	人	△53
		委員会	20	人	20	人	0
9月定例会	傍聴者数	本会議	143	人	131	人	10
		委員会	54	人	20	人	34
12月定例会	傍聴者数	本会議	95	人	116	人	△21
		委員会	22	人	24	人	△2
3月定例会	傍聴者数	本会議	109	人	120	人	
		委員会	27	人	52	人	